

総合内科

■ スタッフ

科長 岡本 隆二
副科長 田辺 正樹

医師数 常勤 0名
併任 11名
非常勤 0名

専門医取得状況

岡本隆二（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医）

田辺正樹（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本超音波学会認定超音波専門医、日本感染症学会認定感染症専門医）

山田典一（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本脈管学会認定脈管専門医）

杉本和史（日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器学会認定専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会認定専門医）

山本憲彦（日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器学会認定専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会認定専門医）

石川英二（日本内科学会認定総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医）

熊谷直人（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医）

松田明正（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医）

荻原義人（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医）

後藤 至（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医）

谷村宗義（日本循環器学会専門医）

■ 診療科の特色・診療対象疾患

臓器別診療にとらわれない、幅広い領域の内科疾患を対象に横断的な診療を行っております。症状や身体所見の原因となっている基礎疾患の診断に苦慮する患者や多臓器にわたる疾患群を有する患者に対

しても、必要に応じて内科各分野の専門医のアドバイスを得ながら、質の高い医療を提供することを目指しています。

1. 当科の特色

- 単一の疾患だけを対象とするのではなく、併存する多疾患を全身的な観点からとらえた診療を行っております。
- 確定診断に難渋する患者に対して多くの専門性の高い診療科と連携しつつ診断に導きます。
- 生活習慣病、メタボリック症候群の引き起こす心臓血管疾患や脳血管障害の予防と患者教育を行っております。
- 総合内科を担当する医師の多くは日本内科学会が認定する内科認定医・総合内科専門医の資格を有し、豊富な経験を有しています。
- 必要に応じて入院していただき、適切な検査・治療を行っております。

2. 主な診療対象疾患

- 診断未確定な患者（不明熱、意識障害、検査値異常など）
- 2次性高血圧症（原発性アルドステロン症など）
- 各種感染症
- 膠原病・血管炎などの自己免疫疾患
- 原因不明のむくみ
- 複数の疾患、複数の臓器障害を有する患者
- 生活習慣病、メタボリック症候群
- 睡眠時無呼吸症候群
- 一過性意識消失発作、失神発作 その他

■ 診療体制と実績

外来受診患者数（平成26年4月1日～平成27年3月31日）：延べ患者数244名

入院患者数（平成26年4月1日～平成27年3月31日）：延べ患者数730名

入院患者検討会：毎週木曜日午前8時から

入院患者総回診：毎週木曜日午前 10 時から

■ 診療科の治療実績

入院患者の主疾患の内訳

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 10 月 30 日)

敗血症性ショック	1 名
肺炎、気管支炎、胸膜炎	5 名
腎盂腎炎	1 名
眼内炎	1 名
子宮付属器炎	1 名
膠原病	6 名
IgG4 関連疾患	1 名
原発不明癌	1 名
神経性食思不振症	1 名
大動脈炎症候群	1 名
2 次性高血圧症	14 名
肺高血圧症、肺塞栓症	14 名
うっ血性心不全	6 名
洞不全症候群	1 名
急性腎不全	1 名
慢性腎不全	2 名

■ 教育活動の実績

定期的に学生・研究医を対象とした内科全般の幅広いテーマに関する教育セミナー「MMC 総合内科セミナー」を開催しています。

第 7 回 MMC 総合内科セミナー

2014 年 5 月 13 日開催

場所：三重大学臨床第 2 講義室

テーマ：救急外来や緊急入院時に役立つ、循環器疾患、消化器疾患の基礎知識

『心不全：病態を理解すれば日常診療に自信が持てる！』

講師：三重大学 循環器内科 土肥 薫先生

『これで納得！消化器疾患へのアプローチ法』

講師：三重大学 消化器・肝臓内科 山本憲彦先生

第 4 回 MMC 総合内科セミナー

2014 年 11 月 1 日開催

場所：三重大学臨床第 2 講義室

テーマ：薬剤の使い方

『循環器疾患の薬剤の使い方』

講師：三重大学 循環器内科 岡本隆二先生

『腎臓疾患の薬剤の使い方—CKD、ステロイドについて』

講師：三重大学 腎臓内科 村田智博

『消化器疾患の薬剤の使い方と、ガイドラインについて』

講師：三重県立総合医療センター

消化器内科 井上英和先生

http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/training/mm_cseminar.php (ホームページ)

■ 臨床研究等の実績

診断や治療を行った興味深い症例に関しては、積極的に論文化し情報共有を図るよう努めております。

Arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy in a 20-year-old woman with systemic sclerosis.

Dohi K, Nakamori S, Kurita T, et al: Intern Med 53: 973-7, 2014

Bilateral giant coronary aneurysms in a 40-year-old male with Noonan syndrome caused by a KRAS.

Fujimoto N, Nakajima H, Sugiura E, et al: Int J Cardiol 173: e63-6, 2014

Effects of cardiac resynchronization therapy on left ventricular mechanical dyssynchrony induced by right ventricular pacing in a patient with heart failure and preserved ejection fraction.

Takeuchi T, Dohi K, Kumagai N, et al: Int J Cardiol 177: 1069-72, 2014

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/>(ホームページ)

